



普川泰藏え

## 随 想

### アイオーンの初陣

小野 哲

昨年暮の日本学生グライダー選手権大会で、同志社は三種目のうち二種目の一位を取り、総合で二位、四位、五位を得ました。優勝を逃し、それが残念ですが、しかしあれこれ考えれば、新機体の初陣としては上首尾と思えます。

今回の選手権から、輸入機での参加が認められましたので、西独製の高性能ソアラKa6Eを三年計画で購入し、アイオンと命名したばかりの同志社と、一年前に同系列のCR型を入手して練習を積んだ立命が機材の面で既に優位に立ち、競技結果も関東・東海・西部の強豪の急追をしのいで立命の江口が総合優勝、同志社の加藤が二位、喜田が四位、箕浦が五位を占め、他地区は、関東学院の三位、立教の六位入賞にとどまりました。

競技は、埼玉県の妻沼滑空場で行なわれ指定方向往復距離速度競技(加藤一位)と指定三角コース距離速度競技(喜田一位)と指定コース周回距離速度競技(関大堀田)の三種目。

その七面倒な詳細は省きますが、ともかく、グライダー競技は、第一にすぐれた性能の機体、第二にこれに習熟した操縦技量第三にそれにもまして飛翔時の気象的チャンスに恵れること及びそれを逃さないことで決りますから、結局は、機体と乗員と気象運のからみあい、なかなか思う通りには運びません。

幸い、今回は、数年来の構想が実って、同じ教官から同一のシステムでトレーニングを受けた両校の選手が、同型列機による二種目制覇と総合優勝を得たのですから、まあ言ってみれば、立命館と同志社のスクラムトライで京都勢が全国制覇を仕とげ、Ka6CRとKa6Eに乾杯というようなことになりました。それだけに、このKa6導入の刺戟は、次の大会をちよつと見当もつかない激戦に追いこみそうです。

同志社に続いて、関大が年末にKa6Eを入手しましたから、関西のKa6チームは一そう強力になりますが、関東その他の地区は、これに上まわる高性能機の輸入による巻返し計画があるとか。しかし、高性能も過ぎると現役学生の手にあまり、導入機種を選定ははなはだ微妙です。

わが同志社チームは、既にその点を充分に検討して選り、OBと学校の貴重な援助と理解がこめられているアイオンの、堅確で駿足の性能に賭け、複座機イオラスとの使いわけに妙手を見ようと考えます。

あとは「新島先生の青春を鍛えた快風丸は、今日空を翔るとき、アイオンとなり

イオラスとなる」の心意気で励む部員の日  
己鍛練と技量練磨の成果に期待するばかり  
です。  
(法学部教授・体育会航空部部長)

## 英 会 話

尾 崎 寛

英語を話すのが好きで好きで、という人  
がいる。街で出あった見知らぬ外人にでも  
いそいそと話しかける。話しかけられた方  
はおどろくだろう、見たこともない人間が  
ニコニコと何か話しかけているのだから。  
どんなにびっくりするか、私自身にも経験  
がある。ワシントンで夕食をとり、レスト  
ランに入っていたところ、中で食事をし  
ていた大きな男がいきなり立ちあがって、  
「ドウゾヨロシク、コンバンワ、オハヨウ  
ゴザイマス、サヨウナラ。」逃げだそうか  
と思ったが、気をおちつけてみると、大分  
酒が入っているらしい。兵隊として日本に  
いたことがあって、日本人とみると急に知  
っているだけの日本語を喋ってみたくなっ

たらしかった。一つには、いっしょに食事  
をしていた四・五人の連れに、自分は日本  
語が話せるというところを見せたくもあつ  
たようだ。いずれにしろ、どぎもを抜かれ  
たことにはまちがいない。これは人に聞い  
た話だからあまりあてにはならないが、電  
車の中で、横にやってきた日本人の男の子  
から、Excuse me, I want to have in-  
tercourse with you.とせまられて、気絶  
せんばかりにおどろいたアメリカ女性の話  
もある。その男の子にすれば、英会話の上  
達には、何より外人と知りあうことなど  
という先輩だか、教師だかの教えを忠実に  
実行したまでのことだろうが、それにして  
は選んだ言葉が適切すぎた。

万国博が近づいて、またオリンピックの  
時と同じように、外国語が喋れるというの  
がもてはやされる。エースコート・ガイド  
とやら、若い女性の間では大変な憧れの的  
らしい。さあ皆さん、英会話のお勉強をは  
じめましょう。英語を通じて国際親善を。

最近よく使われる言葉に「時点」という  
のがある。現時点とか、今の時点でとか、

便利にはちがいない。知人が、電気器具を  
安く手に入れてくれるというので頼んでお  
いたら、電話がかかって、「一昨日の時点  
ではまだ在庫があったんだが」という。ジ  
テン?と聞きかえしそうになって、のみこ  
めた。しかし私には使えない。他にも自己  
批判だの、主体的にかかわるだの、素面で  
はとも口にできないような言葉が多い。  
考えてみると、私にとって英会話とか、特  
に日本人同志で英語を話すというようなこ  
とは、これと同じ気恥かしさにつながって  
いる。だから外国生活一年かそこらで、ど  
うも英語で話した方が楽だ、などという語  
学の天才を見ると、別世界の人間としか思  
えないのだ。

とはいうものの自分が劣っているとは誰  
しも考えたくないものだ。そこで私は、英  
語を喋るのは得意じゃないけれども、聞く  
耳でなら人に負けない、講義にしろ、映画  
芝居にしろ、そう不自由なく理解できたし  
第一、アメリカ人のつまらない冗談にも腹  
をかかえてやって、大いに親善をつくして  
きたんだ、とぐっとそりかえることにして  
いる。  
(女大専任講師・英文学)